

遊佐町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）2024 年度実績報告

遊佐町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、温室効果ガス排出量の実績について公表します。

1 温室効果ガスの排出量

	2013 年度 (基準年度)	2024 年度 実績	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)
温室効果ガス 総排出量 (t-CO ₂)	5,683.3	4152.5	-1530.8	-26.9

2 温室効果ガス排出量の状況

	2013 年度 (基準年)	2024 年度 実績	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)
電力由来排出量 (t-CO ₂)	3616.5	2568.2	-1048.3	-29.0
燃料由来排出量 (t-CO ₂)	1767.9	1315.8	-452.1	-25.6
灯油	1494.8	1127.8	-367	-24.5
A重油	78.6	44.0	-34.6	-44.0
ガス	194.5	144.0	-50.5	-26.0
公用車由来排出量 (t-CO ₂) ※	299.0	268.5	-30.5	-10.2

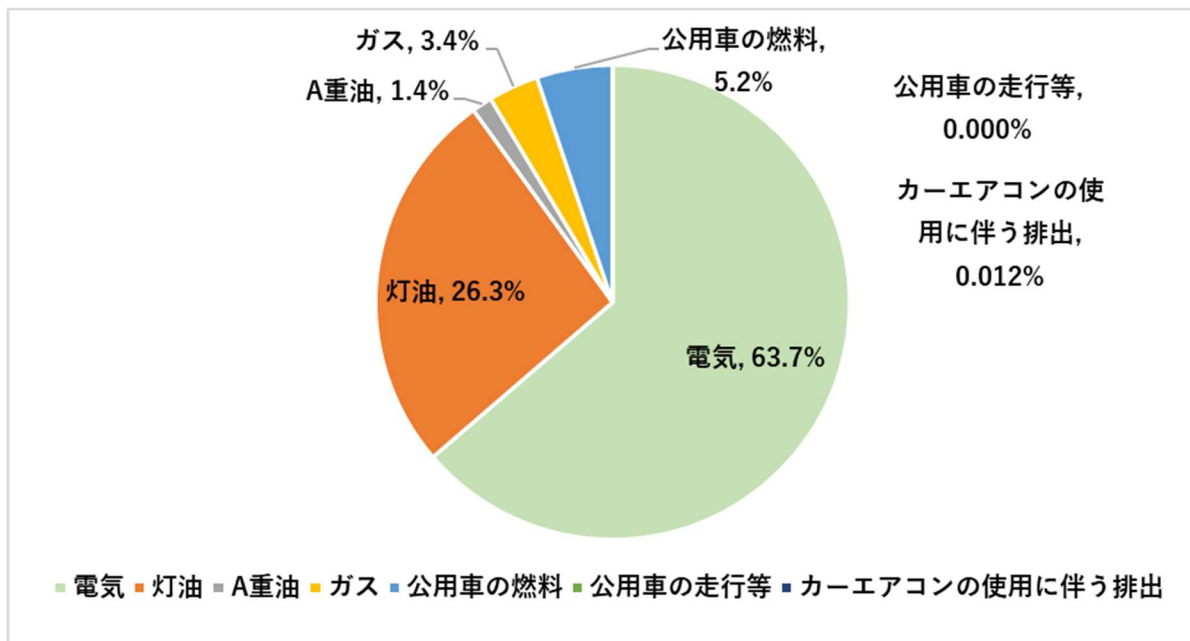
※公用車由来の排出量は、公用車の走行、カーエアコンの使用に伴う排出です。

【考察】

本町の事務・事業に伴う「温室効果ガス総排出量」は、基準年度である 2013 年度において、5683.3 t-CO₂ となっています。基準年度と比較し、直近年である 2024 年度の温室効果ガス総排出量は 1530.8 t-CO₂、約 27%減少しています。

令和 3（2021）年 8 月に新本庁舎が開庁し、庁舎使用方法の変化や記録的な猛暑に伴い、旧庁舎に比べてエネルギー消費量は増加しています。一方、令和 5 年度に小学校 5 校が統合し、1 校に集約されたことから、エネルギー使用量が減少しています。

3 温室効果ガス排出種別の内訳（割合）



【考察】

エネルギー種別では、電気が全体の 63.7% を占め、次いで灯油 26.3%、ガス 3.4%、A 重油 1.4%、公用車の燃料 5.2% とおり、電気と灯油の使用が大部分を占めています。